

斑点米カメムシ情報 第1号

平成21年7月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

1 発生状況

6月下旬の巡回調査（県内100ほ場）において、水田周辺の畦畔における捕虫網20回振りによる斑点米カメムシ類の捕獲数は、ホソハリカメムシ 0.22頭（平年 0.07頭）、クモヘリカメムシ 0.11頭（平年 0.02頭）、カスミカメムシ類 8.49頭（平年 3.56頭）となり、各種カメムシ類が平年より多くなっています。また、予察灯における斑点米カメムシ類の誘殺数も、平年に比べやや多くなっています（図1）。

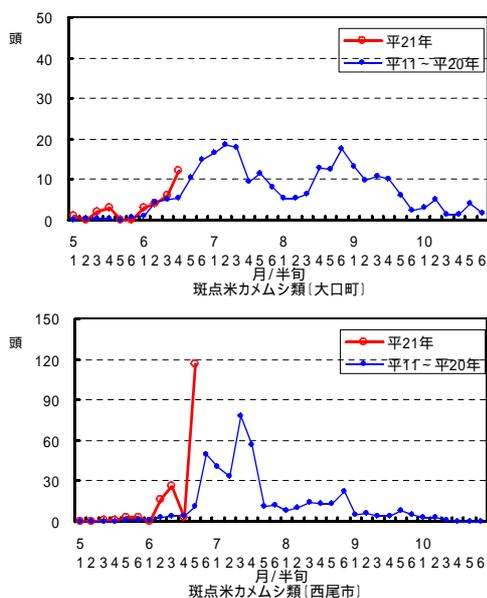


図1 予察灯における斑点米カメムシ類の誘殺数



図2 アカスジカスミカメ成虫



図3 ホソハリカメムシ成虫

2 防除対策

カメムシ類は水田周辺の畦畔や土手などのイネ科雑草等で増殖するため、除草に努めましょう。しかし、出穂期間際の除草はカメムシ類を水田に逆に追い込むことになるので控えてください。また、水田内で穂をつけたヒエ類は、カメムシ類の発生を助長するので除去しましょう。

出穂期に畦畔雑草や水田内でカメムシ類を確認したら、穂揃期に薬剤防除（表）を実施し、その後も発生が多い場合は7～10日後に再度防除を実施してください。

表 斑点米カメムシ類に対する主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍数・使用量	収穫前日数	使用回数
トレボンEW	1,000倍	21日前	3回
スミチオン乳剤	1,000倍	21日前	3回
アドマイヤー粉剤DL	4kg/10a	21日前	2回
ベストガード粉剤DL	4kg/10a	14日前	4回
MR.ジョーカーEW	2,000倍	14日前	2回
ダントツ粒剤	3～4kg/10a	7日前	3回
スタークル粒剤、アルバリン粒剤	3kg/10a	7日前	3回